

Members 2020 小田原男声合唱団

T1 加藤重喜 (秦野市)
河田一男 (伊東市)
斎藤惠司 (伊勢原市)
露木聰 (小田原市)
中島弘光 (南足柄市)
堀内哲夫 (南足柄市)

T2 青野幸夫 (秦野市)
上利宏司 (小田原市)
奥住隆之 (茅ヶ崎市)
白石久司 (開成町)
杉本健二 (南足柄市)
高瀬昇次 (小田原市)
田山正弘 (伊東市)
土肥雄一 (小田原市)
福井隆 (二宮町)

B1 伊東清邦 (秦野市)
岩越万里 (小田原市)
大塚常昭 (小田原市)
加藤和信 (小田原市)
菊池義彦 (小田原市)
下村興毅 (小田原市)
高橋茂樹 (小田原市)
中村敬 (南足柄市)
西山隆行 (秦野市)

B2 一色義信 (秦野市)
磯田幸男 (小田原市)
坂口宗夫 (小田原市)
鈴木壽久 (南足柄市)
田島達也 (南足柄市)
千葉陽一郎 (海老名市)
廣瀬友二 (秦野市)
柳田圭一 (湯河原町)

休団者

T1 伊藤正昭 (横浜市)
松田直隆 (山北町)
水城高嶺 (秦野市)

T2 佐藤精孝 (二宮町)
日置達夫 (小田原市)

B1 網盛一郎 (小田原市)
江川卓男 (鎌倉市)
岡部仁之助 (秦野市)
三溝良 (秦野市)
横山茂 (千葉市)

B2 笠原紘 (小田原市)
佐々木秀昭 (秦野市)

名誉指揮者
外山 浩爾

常任指揮者
辻 秀幸

指揮者
村田 雅之

ピアノ
中根 希子

ヴォイス
トリーナー

杉山 範雄

運営スタッフ

団長 斎藤 久二
副団長 鈴木 健二
事務局長 杉本 隆
団内指揮者 福井 隆
技術部長 福井 隆

財政部長 廣瀬 友二
事業部長 河田 一男
団員部長 高瀬 昇次

渉外部長 鈴木 久
財政監査 青野 幸夫
JAMCA 杉本 健二
KAMCA 鈴木 久

定演プロジェクト

上利宏司
河田一男
坂口宗夫
鈴木壽久
千葉陽一郎

舞台録音
写真ビデオ
譜捲り
受付・案内

堀内哲夫
福井隆
加藤和信
一色義信
露木聡
高瀬昇次
中村敬
磯田幸男

高橋茂樹
上利宏司
稲子紀夫
坂口尚夫
柏木晶子
南エコーラス
小田原市
レセプション
様
様
様
様

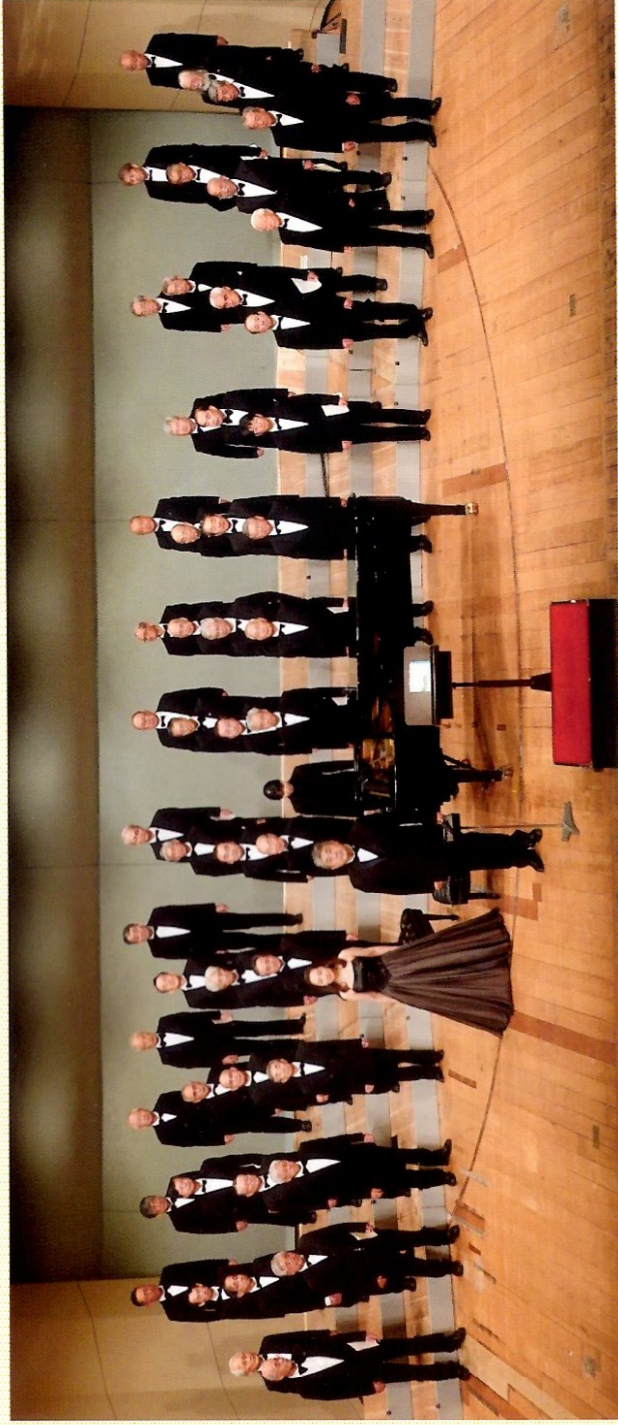
新入団員募集

2021年12月に第50回記念定期演奏会を行います。是非この機会に一緒に男声合唱の醍醐味を楽しみませんか。ご連絡をお待ちしております。(信長貴富氏委嘱曲を初演予定)

練習日時: 毎週火曜日 18:30~20:45 月1回日曜日 13:00~17:00
練習会場: 後報(小田原駅近辺) 未経験の方のために練習用音源を用意します
会費: 月額4,500円(大学生は半額、高校生は免除)
連絡先: 杉本 健二 電話0465(73)0037
ホームページ: <http://odadan.org/> (小田原男声で検索して)ください



小田原男声合唱団 第49回定期演奏会



南足柄市文化会館 大ホール
2020.12.19 (土) 開場 13:00 開演 14:00

後援 日本男声合唱協会 (JAMCA)
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)
湘南合唱連盟
小田原地区合唱連盟

＜ ご 挨拶 ＞

本日はお忙しい中ご来場いただきまして有難うございます。

このような社会情勢の中で演奏会を開催するに至るまでには、多くの葛藤がありました。1つは、3月から6月までの約4ヶ月間に及ぶ練習休止でした。この間「このような状態がいつまで続くのか」「小田原はどうなってしまふのか」といった不安の日々でした。少しでも団員の気持ちが小田男とつながり続けることを願い、『団員近況』『練習音源』指揮者の指導による『練習ポイント動画』の配信などの取り組みを続けました。

そして、6月末からの練習再開にあたって「再開してこの段階で練習を再開して大丈夫なのか」「再開して団員はどの程度集まるのか」「感染予防対策はどうするか」「練習会場はどうするのか」などの課題を抱えての船出でした。練習再開時には、2割程度の団員から『練習に通うことには不安がある』等の理由で、当面は休団したいとの申し出がありました。しかし、再開後は約30人のメンバーの合唱への熱い思いがひびくと伝わる練習が続きました。週によって練習会場が異なると

いった悪条件の中でも毎回の練習参加率は例年を大きく上回っていました。これは、皆で歌う喜びを改めて感じ、さらに小田男を衰退させてはいけないという危機感の表れでもあったのではと思います。

9月末には「今年の定期演奏会を何とか開催しよう」と団員の気持ちがまとまりました。

しかし、4ヶ月に及ぶ練習休止は大きく影響し、演奏曲を減らさざるを得ませんでした。また、出演メンバーもこれまでと比べ大きく減っています。皆様のご期待にお応えできる演奏になるか不安もありますが、各地で演奏会の延期や中止が伝えられる中で、敢えて演奏会を開催する小田男の熱意と覚悟を汲んでいただければ幸いです。

来年は小田男の創立50年という大きな節目の年で、今の状態が収束に向かい、メンバーも戻り盛大に第50回記念演奏会を小田原の新ホールで開催できることを願っています。
(団長 斎藤 恵司)

第1ステージ フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」

堀口 大学 訳詩 南 弘明 作曲

- Ⅰ. 小曲
Ⅱ. 輪踊り
Ⅲ. 人の云ふことを信じるな
Ⅳ. 海よ
Ⅴ. 秋の歌

指揮 ピアノ
村田 中根
雅之 希子

第2ステージ お楽しみステージ

— 休 憩 —

独 唱
ピアノ
杉山 村田
範雄 雅之

第3ステージ

秋のピエロ
柳 河
神田川

愛唱曲集から

堀口 大学 作詩 清水 脩 作曲
北原 白秋 作詩 多田 武彦 作曲
喜多条 忠 作詞 南 こうせつ 作曲

指 揮
指 揮
指 揮
ピアノ
指 揮
指 揮
ピアノ
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根

雨
大地讃頌

八木 重吉 作詩 多田 武彦 作曲
大木 惇夫 作詩 佐藤 眞 作曲

指 揮
指 揮
指 揮
ピアノ
指 揮
指 揮
ピアノ
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根

第4ステージ

1. 春を待つ
4. 白い障子

男声合唱組曲「雪明りの路」

伊藤 整 作詩 多田 武彦 作曲
2. 梅ちゃん
3. 月夜を歩く
5. 夜まわり
6. 雪夜

指 揮
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根
村田 中根



常任指揮者 辻 秀幸

東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修士課程修了。
イタリミラノ中心に欧州音楽遊学。伊・独・日本歌曲を中心にユニークなリサイタル活動を展開。
宗教曲、邦人作品を中心にアマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、日本全国で合唱講習会講師、コンクール審査員を務める。日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟副理事長（社）Harmony for JAPAN理事 洗足学園音楽大学・東京藝術大学・国立音楽大学各講師



指揮者 村田 雅之

石川県出身。横浜国立大学在学中グリークラブに籍を置き、学生ピアノニスト、学生指揮を務める。在学中より合唱全般の研鑽を積み、栗山文昭、松下耕、伊東恵司の各氏から影響を強く受ける。横浜国立大学グリークラブ、立正大学グリークラブ、男声合唱団東鶴、お江戸コーアーズなどの合唱団に於いて指揮、ピアノ、アンサンブルトレーナーを務める。2014年トレーナーとして小田男で指揮、ピアノを担当する。2016年指揮者に就任する。

フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」

堀口 大学 訳詩
南 弘明 作曲

詩集「月下の一群」は、堀口大学の訳詩のもっとも著名な集大成で、初版は1925年第一書房から贅を尽くした豪華本として出版され、戦後は1952年、1954年にそれぞれ少量の加筆がなされ出版された。男声合唱曲集として南弘明により作曲されたのは（広島 崇徳学園高等学校グリークラブの委嘱による）1977年であり翌年同グリークラブにより初演された。

現代の合唱曲としては音域も技法もごく通常の範囲を超えないものでありながら、詩と音楽が味わいの濃い合唱曲として仕上がっている。詩がしゃべられているのは詩人の選択眼の鋭さにあるが、作曲者は、このフランスならではの機知にあふれた気分を巧みに熟成した日本語に移し替えている。つまり洋服が良

く似合う日本人といった雰囲気の現代的な感覚の詩を巧みに捉え西洋音楽の手法から一歩も出ないまま、日本人の共感を誘う魅力あるメロディや形式の融合した音楽を造るのに成功している。（第39回小田男定期演奏会プログラム 福永陽一郎氏解説より抄録）

本合唱曲集の詩の構成は以下の通り。

- I. 小曲 作詩 フェリッポ・シャヴァネックス
- II. 輪踊り 作詩 ポール・フォーレ
- III. 人の云ふことを信じるな 作詩 フランシス・ジャム
- IV. 催眠歌（海よ） 作詩 アンドレ・スピール
- V. 秋の歌 作詩 ポール・ヴェルレーヌ

男声合唱組曲 「雪明りの路」

この組曲は1959年8月に関西学院グリークラブの委嘱により作曲され、翌60年1月同グリークラブによって初演された。

昭和期の日本を代表する大文学者の一人である伊藤整の詩は、彼の業績全体から見れば、量は決して多くない。「雪明りの路」は、伊藤整が、郷里の北海道小樽近郊に背景を求めて書いた初期の詩を集め、『雪明りをよく知り、永久にそこをたどるあの人々』に捧げた詩集である。もともとは、むしろ歌曲になりにくい自由詩形式で書かれているものを、見事にきっちとした音楽の形式に構成しなおしているところなど、多田武彦の作曲家としてのすぐれた技巧が如実にあらわれた名作であり、初演以来全国で愛唱され続けている。

第1曲「春を待つ」：まだ雪の残る冬の北海道で、ある晴れた日に陽光のぬくもりが春へのあこがれを呼びさします。
第2曲「梅ちゃん」：幼な友達の梅ちゃんの家が火事で丸焼け

になり詩人の子供の日に初めて知った人生の悲しさであった。
第3曲「月夜を歩く」：何の目的もなく月夜の道を歩いてゆく若い日の感傷を、北国の情景の中にとったもの。

第4曲「白い障子」：組曲の中で間奏曲的な小品。

第5曲「夜まわり」：北国の冬の夜ふけの凍てつくような光景の中、不気味な雰囲気、夜まわり、夜まわりと告げながら歩くじいさん。

第9曲「雪夜」：激しい吹雪が止んだ後に、家の外には“雪明り”がほんのり青白く、案外明るい。多田武彦の組曲の終曲はどれも抗いがたい魅力で聴き手をひきつけるが、この曲は、その中でも特に光った出来映えである。

（第10回小田男定期演奏会プログラム 福永陽一郎氏解説より抄録）

ー ル ＞



ピアノ 中根 希子

小田原市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第4回かながわ学生音楽コンクール入賞。第3回長江杯国際音楽コンクール第2位。ウィーン、シカゴ等音楽セミナーマスタークラス参加、ディプロマ取得。小田原音楽フェスティバルにて、小林研一郎・末廣誠・広上淳一・富澤裕・山田和樹・黒岩英臣・佐藤眞・瀬山智博の各氏の指揮のもと、第九、メサイア他演奏会でピアノ、オルガン奏者を務める。ウィーンフィルメンバナー・シュティイデ弦楽四重奏団、天満敦子他著名人との共演やソロリサイタル開催。植田克己、佐藤俊、ノエル・ブローレスの各氏に師事。



ヴォイスレナー 杉山 範雄

小田原少年少女合唱隊24期生。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、これまでバロックから現代まで幅広くオペラに出演、また小林研一郎、小泉ひろし、飯森範親等各氏指揮のもと、『第九』『メサイア』『ドイツイクイエム』等バスソリストをつとめる。合唱の分野では、神奈川・東京を中心に13の合唱団の指導にあたり、ヴォイスレナーとして大学グリークラブ、児童合唱団、音楽大学附属の音楽教室等で指導を行っている。近年では合唱祭、文化庁講師派遣によるワークショップの講師を多数務めている。神奈川県合唱連盟副理事長 杉友会やさしい合唱講座講師